

自昭和二十年一月一日
至同 年一月三十一日

陣中日誌

22998

沖繩

獨立歩兵第十五大隊通信班



現員六人員	奈良少尉以下五十三名
内分遣	一名
後發	七名
本部勤務	二名
未教炊事	一名
軍犬	五頭
一月四日勅諭奉讀式	
雨後曇	一〇。〇。ヨリ本部會議場ニ於テ勅諭奉讀式施行サル
於屋嘉部	隊長以下二十八名參列ス
警報ニ	〇九五五空襲警報發令サル
行動三	勅諭奉讀式參列者ハ直ニ歸隊シ本部對空監視哨ニ高島一等兵以下二名ヲ派遣。部隊衛兵増加歩哨トシテ小野田上等兵以下三名服務ス
解除	無線電信所ハ三十分毎ニ十五分間傍受ス爾餘ノ全員ハ諸物品ノ分散掩蔽實施ニ併行シテ對空射撃ヲ準備ス
教育五	爾後丙號作戦備ノ態勢ニ入ル本日ヨリ當分ノ間初年兵無線手補備教育ヲ實施ス 助教助手左ノ如シ
助教	岡南軍曹
助手	永宮兵長
同	加藤上等兵
作業六	一三三。谷口軍曹以下七名出發。前川ノ屋嘉部間植柱作業實施シ一七二。歸隊ス
後發七	一三三。福野上等兵ハ中頭郡北谷國民學校ニ在ル後發隊員ト交代ノ為出發ス

削除

遺髮遺書
八 留守業務規定第二十四條ニ基ク遺髮遺書ヲ所
屬中隊ニ提出ス

日 命元 石九六日命第三號拔萃左ノ如シ

五 各隊長ハ左記ノ如ク第一項檢閱勤務兵トシテ
一月五日別ニ示ス時間ニ集合シ關係補助官ノ
指示ヲ受ケシムヘシ

左 記

通信班 兵 五

勤務班 部隊衛兵 上田(定)兵長以下五名

其ノ他前日ニ同シ

現 員 人員 奈良少尉以下五十三名

内 分 遣 一名

後 發 八名

本部勤務 二名

糸敷炊事 一名

軍犬 五頭

一月五日不時勤務

曇 一 本日ノ不時勤務左ノ如シ

全 八 檢閱勤務兵 齊藤上等兵以下五名

於屋嘉部 二 經理宣使役 塚本上等兵以下五名

三 兵器宣使役 竹村上等兵以下四名

作業 三 谷口軍曹以下六名前川一屋嘉部間植柱作業
ヲ實施ス

無線連絡ニ
關スル事項

一 石六四旅作命丙第三號ニ依リ爾今乙號戰備以
上ノ戰備態勢ニ於テハ無線通信網ノ變更ヲ別ニ
定メラレタル所ニヨリ實施ス

尚通報ニヨリ旅團一大隊間有線不通時ニ於ケ
ル下丙號戰備間ノ無線連絡處置モ定メラル

勤務	前日ニ同シ	現員	五人	奈良少尉以下五十三名	内分遣	一名	後發	八名	本部勤務	二名	系教炊事	一名	軍犬	五頭	一月六日作業	曇	一志堅原―富里間、半永久線路構成作業實施	土	概成ス	於屋嘉部不時勤務	二塚本上等兵以下五名經理室使役ニ服務ス	教育	三日ヨリ當分、間初年兵暗號手補備教育ヲ實施ス	助手ハ飼田兵長ナリ	解除	除四一三四〇警戒警報解除サル	到着	著五一八〇。後發隊勤務中ノ岩本兵長以下二名到着ス	勤務	六前日ニ同シ	現員	七人	奈良少尉以下五十三名	内分遣	一名	後發	六名	本部勤務	二名	系教炊事	一名	軍犬	五頭	一月七日作業	晴	一谷口單曹以下十五名屋嘉部―前川間半永	日	久線路構成作業實施ス	於屋嘉部歸隊
----	-------	----	----	------------	-----	----	----	----	------	----	------	----	----	----	--------	---	----------------------	---	-----	----------	---------------------	----	------------------------	-----------	----	----------------	----	--------------------------	----	--------	----	----	------------	-----	----	----	----	------	----	------	----	----	----	--------	---	---------------------	---	------------	--------

日	命三	一七〇。系教炊事勤務中ノ後藤一等兵歸隊ス	石九六日命第六疏拔萃左ノ如シ	九左ノ通り本部日直並ニ巡察將校ニ服務スベシ	日直將校	巡察將校	一月十一日	奈良少尉	勤務四	前日ニ同シ	現員五	人員	奈良少尉以下五十三名	内分遣	一名	後發	六名	本部勤務	二名	五頭	一月八日	作業	軍犬	一月八日	作業	軍犬	兩後晴	一	谷口軍曹以下九名前川一屋嘉部間半永久線	月	路構成實施ス	於屋嘉部	二	一六三。後發隊勤務中ノ中村(喜)一等兵ハ業務連	連絡	絡ノ為來隊ス	勤務三	前日ニ同シ	現員四	人員	奈良少尉以下五十三名	内分遣	一名	後發	六名	本部勤務	二名	五頭	一月九日	作業	軍犬	一月九日	作業	軍犬	曇後雨	一	谷口軍曹以下七名全線補修強化作業實施ス	火警報	於屋嘉部	二	八五。警戒警報發令サル	三	九〇。空襲警報發令サル	解除	四	一。三。空襲警報解除サル
---	----	----------------------	----------------	-----------------------	------	------	-------	------	-----	-------	-----	----	------------	-----	----	----	----	------	----	----	------	----	----	------	----	----	-----	---	---------------------	---	--------	------	---	-------------------------	----	--------	-----	-------	-----	----	------------	-----	----	----	----	------	----	----	------	----	----	------	----	----	-----	---	---------------------	-----	------	---	-------------	---	-------------	----	---	--------------

連絡歸隊五	一三〇。中村(喜)一等兵ハ連絡ノ為來隊中ノ處
勤務地中頭郡北谷國民學校、後發隊ニ向ケ出發ス	
休養六	一三〇。ヨリ休養ス
勤務七	日直將校 奈良少尉
現員八	其ノ他前日ニ同シ 奈良少尉以下五十三名
内分遣	一名
後發	六名
本部勤務	二名
軍犬	五頭
一月十日演習	
水	一塚本上等兵以下六名九四式六號無線機、通運距離測定、為系教ヲ基點トシ富名驛ヨリ前川方面ニ實施ス
作業二	向ニ實施ス 實施時間午前午後共三時間ナリ 谷口軍曹以下八名前川方面保線實施シ午後八時子(代用)作製ヲ實施ス
勤務三	前日ニ同シ
現員四	人員 奈良少尉以下五十三名
内分遣	一名
後發	六名
本部勤務	二名
軍犬	五頭
一月十一日演習	
星一時雨	一〇九〇。ヨリ一二三〇。間塚本上等兵以下六名前日
木	ニ引續キ系教ヲ基點トスル九四式六號無線機通運
於屋嘉部	距離測定、為前川附近ニ於テ行動ス
作業二	〇九〇。上田兵長以下六名嵯峨驛ヨリ到着資材

出張	一三三。小野田上等兵ハ暗號書受領、為旅團ニ出張シ一六三。歸隊ス
保線	一九一。旅團一大隊間通信線不通、為辻下上等兵以下三名保線、為出發二一四。歸隊ス
勤務	務五 前日ニ同シ
現員	六人員 奈良少尉以下五十三名
	内分遣 一名
	後發 六名
	本部勤務 二名
	軍犬 五頭
一月十二日保線	
晴後曇	一本朝ヨリ旅團一大隊間、通信線不通、為八〇。辻下上等兵以下三名保線ニ出發大里附近
於屋嘉部	ニテ断線シアルヲ發見一〇三。復舊セシム
不時勤務	二 本日經理室使役ニ竹内上等兵以下五名及兵器室使役ニ淺井一等兵服務ス
日命	三 石九六日命第一號拔萃左ノ如シ
	五自一月十三日至二月一日間日課時限、一部ヲ左ノ通り變更ス
	起床 〇七〇〇
	朝食 〇八〇〇
勤務	四 部隊巡察下士官 岡南軍曹
	部 隊 衛 兵 塚本上等兵以下五名
	其ノ他前日ニ同シ
現員	五 人員 奈良少尉以下五十三名
	内分遣 一名
	後發 六名

一月十三日	保線	軍犬	本部勤務	二名	五頭
晴	一上田兵長以下六名ハ仲村渠—富里間ノ線路補				
土	修強化作業ヲ實施ス				
於屋嘉部	二辻下上等兵以下三名ハ防衛地區内旅團通信線ノ				
勤務	三補修強化作業ヲ實施ス				
	週番下士官	谷口軍曹			
	週番上等兵	森山上等兵			
	電信所	渡邊上等兵			
	電報班	秦上等兵			
	交換所	大西上等兵以下二名			
現員	四人員	奈良少尉以下五十三名			
	内分遣	一名			
	後發	六名			
	本部勤務	二名			
	軍犬	五頭			
一月十五日	内務實施				
一月十四日	不時勤務	軍犬	本部勤務	二名	五頭
小雨	一塚本上等兵以下七名經理室便役ニ從事ス				
日休養					
於屋嘉部	二一三〇ヨリ休養トシ外出ヲ許可ス				
勤務	三前日ニ同シ				
現員	四人員	奈良少尉以下五十三名			
	内分遣	一名			
	後發	六名			
	本部勤務	二名			
	軍犬	五頭			